

請求の範囲

1. 式 (1) : H-A1-A2-A3-A4-A5-R

(式中、

Hは、水素原子を示し、

A1は、アスパラギン酸、リジン、バリン、グルタミン酸、グリシン、

アスパラギン、またはチロシンの残基、

A2は、バリン、アスパラギン酸、トリプトファン、リジン、フェニルアラニン、イソロイシン、ロイシン、またはチロシンの残基、

A3は、リジン、バリン、アスパラギン酸、アルギニン、アラニン、またはトリプトファンの残基

A4は、アラニン、トリプトファン、グリシンの残基、

A5は、グリシン、アラニン、バリン、ロイシン、イソロイシン、セリン、

スレオニン、メチオニン、アスパラギン、グルタミン、ヒスチジン、

リジン、アルギニン、フェニルアラニン、トリプトファン、プロリン、

またはチロシンの残基、

Rは、カルボキシル基由来のOHまたは酸アミド基由来のNH₂である)

で表されるg p 1 2 0に対して親和性を有するペプチド。

2. 式 (2) : A1'-A2-A3-A4-A5-R

(式中、

A1'は、アスパラギン酸、リジン、バリン、グルタミン酸、グリシン、アスパラギン、またはチロシンの残基、若しくは、該アミノ酸を始端として、そのN末端側に任意のアミノ酸が配列したポリペプチド残基、

A2、A3、A4、A5およびRは前と同じ意味)

で表されるg p 1 2 0に対して親和性を有するペプチド。

3. 式 (3) : H-A1-A2-A3-A4-A5'-R'

(式中、

A 5' は、グリシン、アラニン、バリン、ロイシン、イソロイシン、セリン、スレオニン、メチオニン、アスパラギン、グルタミン、ヒスチジン、リジン、アルギニン、フェニルアラニン、トリプトファン、プロリン、またはチロシンの残基、若しくは、該アミノ酸を始端として、そのC末端側に任意のアミノ酸が配列したポリペプチド残基、H、A 1、A 2、A 3 およびA 4 は前と同じ意味)

で表されるg p 1 2 0 に対して親和性を有するペプチド。

4. A 1-A 2-A 3-A 4-A 5 のアミノ酸配列を有することを特徴とするg p 1 2 0 に対して親和性を有するペプチド。

5. 式 (4) : H-a 1-a 2-a 3-a 4-a 5-R

(式中、

Hは、水素原子を示し、

a 1は、チロシン、アルギニン、フェニルアラニン、グリシン、トリプトファン、ヒスチジン、またはアスパラギン酸の残基、

a 2は、アルギニン、チロシン、トリプトファン、アラニン、バリン、グルタミン、ヒスチジン、またはリジンの残基、

a 3は、リジン、チロシン、アルギニン、グルタミン酸、メチオニン、またはトリプトファンの残基、

a 4は、グリシン、アラニン、バリン、ロイシン、イソロイシン、セリン、スレオニン、メチオニン、アスパラギン、グルタミン、ヒスチジン、リジン、アルギニン、フェニルアラニン、またはトリプトファンの残基、

a 5は、グリシン、アラニン、バリン、ロイシン、イソロイシン、セリン、スレオニン、メチオニン、アスパラギン、グルタミン、ヒスチジン、リジン、アルギニン、フェニルアラニン、チロシン、またはトリプトファンの残基、

Rは、カルボキシル基由来のOHまたは酸アミド基由来のNH₂である)

で表されるg p 1 2 0 に対して親和性を有するペプチド。

6. 式(5) : $a_1' - a_2 - a_3 - a_4 - a_5 - R$

(式中、

a_1' は、チロシン、アルギニン、フェニルアラニン、グリシン、トリプトファン、ヒスチジン、またはアスパラギン酸の残基、若しくは、該アミノ酸を始端としてそのN末端側に任意のアミノ酸が配列したポリペプチド残基、

a_2 、 a_3 、 a_4 、 a_5 およびRは前と同じ意味)

で表されるg p 1 2 0に対して親和性を有するペプチド。

7. 式(6) : $H - a_1 - a_2 - a_3 - a_4 - a_5'$

(式中、

a_5' は、グリシン、アラニン、バリン、ロイシン、イソロイシン、セリン、スレオニン、メチオニン、アスパラギン、グルタミン、ヒスチジン、リジン、アルギニン、フェニルアラニン、チロシン、またはトリプトファンの残基、若しくは、該アミノ酸及びアミノ酸誘導体を始端として、そのC末端側に任意のアミノ酸が配列したポリペプチド残基、

H、 a_1 、 a_2 、 a_3 および a_4 は前と同じ意味)

で表されるg p 1 2 0に対して親和性を有するペプチド。

8. $a_1 - a_2 - a_3 - a_4 - a_5$ のアミノ酸配列を有することを特徴とするg p 1 2 0に対して親和性を有するペプチド。

9. 請求項1～8のいずれかに記載のペプチドに、官能基を有する高分子化合物および／または医薬活性物質が結合した化合物または医薬として認容されるその塩類。

10. 吸着除去用担体に用いられるものである請求項9に記載の化合物または医薬として認容されるその塩類。

11. 請求項1～8のいずれかに記載のペプチドを用いたウイルス凝集診断検査薬若しくは該診断検査薬を含むキット。